

◆◆「新しい川崎」メール版◆◆

—2024年6月11日第128号—

<目次>

●声をあげて市政を変えよう！～5.31 市民要求実現アクション～

■住まいは人権、誰でも安心して住み続けられる住居を！

▲お知らせコーナー

- ① 6/15 再開発・タワマンに異議あり！住民懇談会
- ② 6/22 鹿嶋田・新川崎まちづくりの会-音楽行事と講演会-
- ③ 6/23 学校給食費無償化を実現する会結成のつどい
- ④ 6/23 平和へのバトン ～第7回 平和を願い、実現するための集い～
- ⑤ 6/28～7/3 戦争の加害展 in 麻生 2024
- ⑥ 6/29 ゆめシネマ「マリウポリの20日間」
- ⑦ 7/7 川崎母親大会

★編集後記

●声をあげて市政を変えよう！～5.31 市民要求実現アクション～

第2回市議会の開会日5月31日の12時から、市役所前で「市民要求実現アクション」が開かれ、約60名が参加しました。

市民アクションの最初に、川崎民主市政をつくる会の市古事務局長がまず訴えました。

<主催者からの呼びかけ>

川崎市民のみなさん、市役所ではたらく市職員のみなさん、ただいまより、第2回市民要求実現アクションを始めます。

2024年第2回川崎市議会定例会が、今日から始まりました。

市議会とは、各議員が市民の声を受け止め、市民の願い、要求を実現するために働く場だと位置づけています。

そのためには、私たち市民が、どしどし、議員に直接、会って、要求を聞いてもらうことが必要です。

同時に、市民が、憲法に保障された請願権を使って、直接、請願や陳情を市議会に提出し、市議会委員会の公開された審議を見守り、採択を求めていくことが必要です。

市民のみなさん、地方自治の主人公は、私たち市民一人ひとりです。これが、日本国憲法と地方

自治法が定めている国民の権利です。

春闘での賃金アップも物価値上げに追いつかず、国民保険料や介護保険料の値上げなど、社会保障・社会福祉の改悪で、市民の生活は苦しくなる一方です。

何よりも、この悪政の大本である国の政治、自民党政治の転換が必要です。

同時に、福田市長が続けてきた大企業優先・国のいいなりの悪政がさらに市民生活を圧迫しています。

福田市政は、この4月新年度から11年目に入りました。

過去10年間の福田市政のもとで、川崎市は、市民が主人公であるという地方自治の本来の役割を捨て去っているのではないのでしょうか。

これから始まる市民のアピールが、そのことを証明しています。

しかし、ここであきらめるわけにはいきません。今日から始まる市議会は、市民要求実現のチャンスです。

市民の声を市長に、議員に、しっかりと届けましょう。

積極的に陳情や請願を提出しましょう。

各会派に要求実現の申し入れを行いましょ。マスコミにも積極的に働きかけましょ。

<市民からのアピールが続く>

この呼びかけに続いて、8人が次々にアピールを行いました。

以下にテーマと発言者を紹介します。

詳しい内容は、過去のメルマガや川崎民主市政をつくる会 HP を参照してください。

1. 小学校プール水流失事故の損害賠償の撤回を求める（吉根清博・川崎労連）
2. 教職員の未配置問題の解決を（大前博・教職員連絡会）
3. 学校給食費無償化を求める（水野栄子・ゆきとどいた教育をすすめる川崎市民の会）
4. 羽田増便・低空飛行ルートに反対する（山田美枝子・低空飛行ルートに反対する川崎区民の会）
5. 西加瀬:巨大物流倉庫の建設の中止を求める（広瀬忠雄・巨大物流倉庫を考える西加瀬住民の会）
6. 公営住宅の整備と賃貸住宅への家賃補助を求める（幸区在住・個人）

7. 難聴者への補聴器助成制度の創設（坪井盛治 ・川崎市年金者組合）
8. 川崎 100 年祭でのブルーインパルス飛行に反対する（栗原伸元 ・個人）

<今の市議会への請願、陳情>

6月4日の第1次締め切りまでに受理された請願や陳情でわかっているのは、以下の2本です。他にもあると思います。情報をお寄せください。

- ① 教職員の未配置解消で子どもたちが安心して学べる学校を求める請願(12183名)
 - ② 三菱ふそう跡地に、市民ミュージアムと緑豊かな憩いの場を求める陳情(3540名)
- (H)

■住まいは人権、誰でも安心して住み続けられる住居を！

第1記事で紹介した市民要求実現アクションに個人で参加し、6番目に発言をした女性(匿名希望)にお願いして、スピーチ原稿をいただきました。

高齢者の住宅問題は、メルマガ126号で「高齢者向け賃貸住宅の家賃補助を打ち切った川崎市政」で初めて取り上げました。

今回の投稿はそれに続くものです。

以下、紹介します。

1、自己紹介、私が困っていること

私は単身で神奈川県住宅供給公社の住宅に住んでいます。

私の最大の悩みは住居です。

県住宅供給公社の家賃は3年ごとに上がります。

住居は年々、老朽化しているにも関わらず、2004年に入居した時よりも1万円上がりました。

来年、また上がります。これ以上上がれば、私は家賃を支払うことができません。

私は現在、会社勤めをしており、2年後に定年退職します。

雇用延長して、年金受給開始の65歳まで働く予定です。

しかし、収入は半減し、現在の家賃を払い続けることができません。

神奈川県住宅供給公社には、高齢者を対象とした家賃減免制度がありません。

住み慣れた幸区を離れて、家賃の安い部屋へ引っ越さなければなりません。

民間の賃貸住宅を借りようとしても、貸主は単身高齢者の孤独死を恐れて、部屋を貸したがりません。

さらに、部屋を借りるためには、保証人が必要です。しかし、高齢者は保証人を立てることが困難です。

2, 川崎市に要請したいことは4つあります。

(1) 単身者に月3万円の家賃補助を支給してください。

国は、持ち家政策を推進し、住宅ローン減税により、家を購入する人に援助してきました。しかし、賃貸生活者には何の支援もありません。

単身者には、家族世帯のように、扶養手当がなく、税金の扶養控除もありません。

社会保険料も単身者は割高です。

(2) 市営住宅の増設と、老朽化した市営住宅の設備更新をしてください。

川崎市市営住宅の平均倍率は16倍で、交通便利な物件は何十倍もの倍率です。

市営住宅、公社住宅、公団住宅は1970年代に建てられたものが多く、設備が老朽化しています。

5階建以下の建物にはエレベーターがありません。

高齢者や身体が不自由な人は住むことができません。

政府の持ち家政策のもとで、公営住宅が極端に少ないです。

(3) 高齢者向け優良賃貸住宅を増やし、家賃補助の延長をしてください

(4) 保証人を立てられない高齢単身者のために、川崎市が保証人になってください。

3、中高年単身女性の困難について

私は、中高年単身女性の自助グループ、わくわくシニアシングルスで活動しています。

私たちは2022年に40歳以上の単身女性2300人の生活実態調査をしました。

持ち家率は21%と低いです。

民間賃貸住宅居住者が42%、公営住宅居住者はわずか7%にすぎません。

民間賃貸住宅居住者のうち、38%が月7万円以上の家賃を支払っています。

住居費支払い後の家計に余裕がない人は63%もいます。

低賃金で低年金である、中高年単身女性にとって、家賃負担はとりわけ重いです。

アンケートには、家賃補助がほしい、単身者が入居できる公営住宅を増やしてほしい、自治体や国が保証人を引き受けてほしい、といった切実な声が寄せられました。

女性にとって、安全で健康に過ごせる住環境は、特に重要です。

川崎市はぜひ中高年単身女性の住居について実態調査をして、現状を把握してください。

ぜひ、女性が一人でも安心して住むことのできる川崎市にしてください。

★お知らせコーナー

① 再開発・タワマンに異議あり！住民懇談会

6/15(土)14時

@宮前市民館第4会議室

鷺沼、登戸、武蔵小杉の現状と市民の運動の報告

資料代 500円

連絡先 080-6758-4252 猪俣

[詳しくはこちら](#)

② 音楽行事と講演会「人間の顔をしたまち」

——人と地域をつなぐ南武線に——

6/22(土)14時～16時

@新川崎・鹿嶋田駅周辺整備事務所

参加費:500円

- ・日本の民謡と尺八演奏
- ・南武線開かずの踏切解消、報告と意見交流
- ・まちづくり講演会「環境にやさしい住まい——その2」

講師:金田正夫氏 無垢里一級建築事務所主宰・工学博士
連絡先:080-1225-5411(佐藤)

[詳しくはこちら](#)

③「学校給食費無償化を求める会」スタート

6月23日(日)

9時45分～映画「希望の給食」上映

10時30分～感想交流と結成のつどい

@産業振興会館第4研修室

資料代 300円

連絡先 市古(090-7830-8030)

[詳しくはこちら](#)

④平和へのバトン ～第7回 平和を願い、実現するための集い～

6/23 13:30 – 14:30

@かわさきゆめホール

主催:平和を願う会

問い合わせ

萩坂心一 044-935-0313

hagisaka@dab.hi-ho.ne.jp

[詳しくはこちら](#)

⑤ 戦争の加害展 in 麻生 2024

6月28日～7月3日

@麻生図書館内麻生市民ギャラリー

連絡先 若槻(080-8725-8360)

[詳しくはこちら](#)

⑥ ゆめシネマ「マリウポリの20日間」

6/29(土) ①9時②12時③15時④18時

@かわさきゆめホール

一般:1000円

障がい者:500円

学生以下:200 円

無連絡:+500 円

[詳しくはこちら](#)

⑦川崎母親大会

7/7(日) 10時～分科会

川崎市産業振興会館

- (1) 映画「梅切らぬバカ」
- (2) 包括的性教育ってなに？
- (3) みんなちがって・・・当たり前
- (4) 日本の食糧と農業のいま
- (5) 巨大物流倉庫でなく、緑豊かな市民ミュージアムを

13時10分～全体会

文化行事:ヴァイオリン独奏:金澤文さん

記念講演:根本隆さん「心豊かに暮らしたい」～軍事費より社会保障の充実を～

★編集後記

「新年度、川崎市の学校の教職員の未配置 131.5 人」という問題が、今週、新聞各紙で報道され、大きな話題となっています。

というよりも、今後の川崎市政の最大の課題になったというべきでしょう。

当然のことだと思います。

署名活動を進めてきた「ゆきとどいた教育をすすめる川崎市民の会」は、12,138 名の賛同を得て、6 月 3 日に、未配置解消を求める請願を提出し、その後、記者会見を行いました。

新聞記者のみなさんの関心も強く、今回は、記者会見の前の議会局に請願を提出する場面から取材が始まりました。

請願者代表の水野栄子さんは、「こんなことは初めてです。

関心をもってもらえたのはうれしいですが、とても緊張しました。」と語っています。

記者会見でも、真剣なやりとりが続き、今回の川崎の未配置 131.5 人が前代未聞の異常事態であることが浮き彫りになりました。

新聞各紙は、次のような見出しをつけて、大きく報じています。

朝日／川崎市立学校で教員不足深刻 計 131.5 人 昨年から倍増
東京／教職員不足解消を 市民団体が市議会に 1 万2千筆 署名提出
読売／不足教員 昨年の2倍超 川崎市立校140人(5月時点) 小学校4校36人学級に
毎日／「川崎の先生足りない」 市民団体、署名1万2138筆 請願
赤旗／教職員の未配置解消を 川崎市民の会が署名を提出

請願を審議する市議会議員と市教育委員会が、「このままでは学校が壊れる！」「子どもたちの学ぶ権利が奪われる！」という市民の声を正面から受け止め、未配置解消へすぐに全力で動くことができるのか、今後もしっかりと注視していきましょう。(H)

☆☆チェンジかわさき！☆☆

川崎民主市政をつくる会

〒211-0011 中原区下沼部 1880

お問い合わせ

mailmag@newkawasaki.jp

公式ホームページ

<https://newkawasaki.jp>

☆☆チェンジかわさき！☆☆

配信を希望されない方は以下をクリックしてください。

自動的に登録を解除します。

https://my922p.com/User/cancel_mail/fMwwpqj4/v685Nbb9PI2J?mail=talosxxx%40gmail.com

誤って登録解除した場合、以下までご連絡ください。

mailmag@newkawasaki.jp